

令和5年度学校教育自己診断の結果と分析

- 回答率：生徒 70.4%（前年度比1ポイント減）保護者 70.5%（同 16.3ポイント増）、教職員 100%（同変化なし）
- 保護者の回答率が大幅に向上した。メールでの協力依頼や記入用紙の再配付が有効であったと考える。

【教育課程の充実に関して】

- ・教職員アンケートによると、教育課程に関連する8項目のうち6項目「次年度の年間指導計画への評価の反映（81.3%）」「指導計画についての話し合い（81.3%）」「指導内容・方法の工夫・改善（98.4%）」「進路学習（89.1%）」「生徒会活動（81.3%）」「安全指導・防災教育（90.6%）」において、昨年度より肯定的回答率が向上した。特に、「進路学習」については、20ポイント以上の増加がみられた。保護者アンケートでも88.2%と、3ポイント程度微増している。引き続き、キャリア教育の充実をめざし、教育課程の見直し・改善に取り組んでいきたい。
- ・授業改善に関しては、教職員アンケートによると、専門人材を活用した授業づくり研修の実施や公開授業月間の拡大等によって、関連項目となる「授業見学の機会（96.9%）」が30ポイント以上、「授業検討の機会（75.0%）」が20ポイント程度、大幅に向上した。一方で「1人1台端末の活用」については、81.3%にとどまっている。次年度は、それらのICT機器の活用推進を授業づくりと絡めて取り組んでいきたい。

【専門性の向上に関して】

- ・教育相談会議や事例検討会等のコンサルテーションを、初任者等の経験の少ない教員に対する人材育成の機会と捉え、計画・実施してきたが、教職員のアンケート結果では、肯定的回答が54.7%と2ポイント程度の微増であった。次年度、首席・指導教諭等によるOJTや対話型の校内研修の機会をさらに確保することで、人材育成に努めたい。
- ・ICT機器の管理方法やチェック体制等の整備については、全校的な取組みによって「備品・教材の配置・活用」が70.3%と、前年度比5ポイント増となった。引き続き、適正管理の徹底とその活用を図りたい。

【安心で安全な学校環境づくりに関して】

- ・教職員アンケートでは、「人権を尊重した指導」の肯定的回答が95.3%と15ポイント以上増加した。生徒アンケートでも「大切にしてくれている」が93.7%と高い割合を維持している。一方、「いじめへの取組み」に関しては、「迅速に対応できている」と回答した教職員は90.6%であるのに対し、「真剣に対応してくれる」と回答した生徒は63.2%、保護者は66.7%にとどまり、乖離がみられた。これは、「わからない」と回答した生徒・保護者の割合が3割近くあったことが影響していると考えられる。次年度は、本校のいじめ防止基本方針や人権教育の取組みを周知徹底していきたい。
- ・防災教育については、教職員・保護者ともに90%以上、生徒は80%以上を維持している。保護者や地域と連携して、より実践的な訓練を実施し、意識の向上を図りたい。

【校務の効率化と働き方改革の推進に関して】

- ・教職員アンケートでは、「分掌や学年間の連携」に関する肯定的回答が78.1%、「校内人事・分掌分担」に関しては64.1%となり、いずれも10ポイント以上の向上がみられた。しかし、「校内人事・分掌分担」については、依然60%台であることから、よりよい職場環境づくりに向けて、校務効率化の取組みを推進していきたい。